

東 栄 広 報

編集発行 愛知県北設楽郡東栄町役場 TEL (4) 400

あけまして
おめでとう
1967
ございます



年頭のことば

—さらに発展を願って—



東 栄 町 長
伊 藤 豊 太 郎

町民の皆様、明けましておめでとうございます。御慶び新年を迎えられたことをお慶び申し上げ、本年はよりご多幸でありますよう祈念いたします。

すぎ去った年をかえりみずと、国の内外はベトナム戦争、中共問題、国会を中心とする不祥事件、近くは狼投町の保育園児の交通事故等、暗いニュースにおおわれていましたが、町といたしましてはとりわけ大きな災害もなく、意欲的に進められた各種の建設事業も順調に進行し、期待した成果が得られたように年であったと思えます。

まず、ここ数年来の懸案であった豊川用水事業の補償対策につきましては、愛知用水公団のご理解ある回答を得まして、三月に円満解決し、補償事業につきましては、すでに完了いたしました本郷橋をはじめ豊免道路は第一期工事を終り第二期工事に着手し、青年の家も本年二月完成を目前に近づいてまいりました。和和、中設楽農道等数多くの建設事業が実現の運びになっております。

一方、産業振興対策といたしましては、森林組合とタイアップして林業構造改善事業に着手し、第一年度の諸計画も着々進行中であり、山村農業振興事業も、昭和四十年においては茶園造成、養蚕団地等の事業を完了し、本年度についても畜産団地造成、養鶏事業等実施項目を決定して作業を始めております。また、環境整備の火葬場施設につきましても、町内西側目地内に用地を決定し、測量も終

わって建設が具体化しており、教育関係では、佃園小学校の給食室新築を施工中であります。役場庁舎につきましては、合併後の支所統合、農業共済事業の町移管等による人員増で事務室が狭くなってまいりましたので、分庁舎を新築して円滑な業務執行を計るとともに、重要書類を完全に保存するための書類倉庫と自動車庫を新築し、外来者用の自動車駐車場の整備工事を施工しました。

以上、昭和四十一年回顧の大要であります。これら事業も本年三月をもって完了のもの、あるいは継続事業として後年度に引続き実施されるものもありませんが、事業執行につきましましては、関係町民各位のご理解とご支援を得なければならぬものばかりでありますので、ご協力をお願い申し上げます。

北設楽郡の皆様、あけましておめでとうございます。歳月の経過はまことに早いもので、私は北設の空に二回目の初日の出を拝し、今年こそはと心を一層あらたにしている次第でございます。

申し上げるまでもなく、明るい環境のもと豊かな生活を営むことはあらゆる人々の願いであります。またこれが行政の究極の目的と承っております。このため昨年愛知県新地方計画に北設楽地域の総合開発計画にもつき、郷土の発展にあらゆる角度から検討を加え、現在着々とその具体化を期しつつあるのでございます。

私には郡民一人一人の熱意とお力添えによりまして、あるだけの力をふりしぼり、「羊頭肉」にならぬよう、皆様のご期待に沿うよう努力してまいりたいと思っております。本年もご慶びよりお祈り申し上げます。私の年頭のごあいさついたします。



明日をひらく

限りなき前進!

無限の可能性に向って

開発の響きは新春の山々にこだまする
共にたずさえて、力強く踏み出そう!
住みよい郷土、明るい暮しをめざして—

今後こうした事象に対処し、住みよい町づくり、明るい郷土建設のために、ますます促進させたいのは、産業開発の基幹である道路の改良整備であります。町内国道一五〇号線および県道の拡幅と舗装を国、県当局に強く要請するとともに、主要町道につきましても拡幅舗装を実施し交通の円滑化を計る所存

を聞き、山麓の豊免道路、スケート場、高の淵を併せ考える観光事業を推進する等、町開発のため山麓する諸課題に取り組みを覚悟しております。

また、本年は知事選、県選、町選と身近な選挙が次々と執行される年でもあります。連反のない明るい選挙が行なわれましよう有権者の皆さんに特別お願いする次第であります。

昨年の一端を申し述べましたが、前年に引き続き積極的に諸施策を推進し、産業開発と町民各位の福祉増進を念願に皆様方の総意を原動力として町発展に精魂を傾注してまいります。今後とも一層のご支援をお願い申し上げて年頭のご挨拶といたします。

年頭のごあいさつ

愛知県設楽事務所長

渡 辺 朝 治

北設楽郡の皆様、あけましておめでとうございます。歳月の経過はまことに早いもので、私は北設の空に二回目の初日の出を拝し、今年こそはと心を一層あらたにしている次第でございます。

申し上げるまでもなく、明るい環境のもと豊かな生活を営むことはあらゆる人々の願いであります。またこれが行政の究極の目的と承っております。このため昨年愛知県新地方計画に北設楽地域の総合開発計画にもつき、郷土の発展にあらゆる角度から検討を加え、現在着々とその具体化を期しつつあるのでございます。

私には郡民一人一人の熱意とお力添えによりまして、あるだけの力をふりしぼり、「羊頭肉」にならぬよう、皆様のご期待に沿うよう努力してまいりたいと思っております。本年もご慶びよりお祈り申し上げます。私の年頭のごあいさついたします。

年頭のことば

愛知県議会議員 後藤 軍治



明けましてお目出とうござい
ます。昭和四十二年の新春にあ
たり、東栄町の皆様へ御挨拶を
申し上げます。

県議会議員として四度目の新
年を迎え、願ひますれば、無我
夢中ひたすらに郡民の皆様への
奉仕を願つて努力を重ねてまい
りました。幸なことに、桑原知
事、橋本議長を初めと致しまし
て先輩各位の懇切なる御指導、
御協力、そして地元の皆様、特
に東栄町の伊藤町長さん並びに
町議会の皆様を初めとして全町

民あてての心あたまる御支援
御指導をいただき、東栄町政の
発展に御協力の出来たことは
誠に感謝に堪えないところ
でありまして厚く御礼を申し上
げます。

この四カ年間に県庁をはじめ
県下各地の人々や国務各省をは
じめ国会の諸々の人々、地元で
は特に東栄町の皆様との結びつ
きを深めましたことは大きな取
組でありまして、今後における
活動力の根元となるものと存じ
ます。この「さいわいの輪」を
大きく広げてまいりたいと存じ
ます。

しかしながら、偉大なる発展
をなしとげました大愛知の中の
奥三河地方は、大発展の中の谷
間におかれておりまして、大き
な悩みとして山間へき地の格差
はますます深刻、農山村の人口
は激減の如く他産業に流れ、
大都市およびその周辺の過密状
態にくらべて全く空白状態とな
り、産業、文化、交通等の重要
施策を通して地域の開発と
住民福祉の向上は、財源枯渇と
ともに町村自体独自の力だけで
は如何ともなし難い状況になっ
てまいりました。

年頭のごあいさつ

設案警察署長 伊藤 保

東栄町の皆様、明けましてお
めでとうございます。
希望に満ちた昭和四十二年の
新春を迎え心からおよろこび申
上げます。

私が当地に赴任してはじめて
の新春でもあり、清らかな山景
水明の地にあらたな年を迎える
ことが出来たことは、また
とないよるごびであります。

昨年をかえりみますに、最近
他地域におきましては、人心を
いぢめるしく震駭させるような
殺人、強盗など凶悪な事件があ
いついで発生しておりますが、
幸いにして東栄町はもとより、
郡内すべてにわたる凶悪な犯罪
も見ず、またさしたる治安上の

問題もなく、平和ムードのなか
に一年をめぐることができ
ましたことは、ひとえに皆様方
の警察行政に対するご支援、ご
協力のたまものであり、まことに
感謝にたえないところであり
ます。

しかしながら他方、交通問題
に目を転じますと、昨年郡内の
交通事故発生は約八十余件に及
び、増加の一途をたどりつつあ
ります。しかも、これによる死
傷者の数もまた高率を示しつつ
あり、さらに東栄町における交
通事故が郡内における全交通事
故の半数をしめている現状にあ
ります。

もとより、交通事故防止対策
として、交通安全上の

を哀れみ技能あれども高ぶらず
自からの身をいけにえて侮い
ないといわれる末の精に学び
自からの心を研ぎ、県民の皆様
への奉仕の心に徹してまいりた
いと存じます。

東栄町民の皆様の一層の御指
導、御支援をお願い致しますと
ともに、東栄町の皆様がまず下
す御健勝で町政発展に御尽力下
さいますことを心から御祈り申
上げまして新年の御挨拶と致
します。

謹んで新年の
およろこびを申し上げます

お引立 一層 加盟店内 加心 ぞり 本
お上げ 由し 願ひ 心か 年
下さる よう 下さる よう

東栄町商工会

町の父方家

農業振興の問題点と対策

なにご紹介している東栄町の地域診断報告書では、その第二章
として、本町農業の全般にわたるこの実態をくわしく分析して検討
が加えられている。しかし、ここでは紙面の都合でこれらを結論的
にまとめて、農業の問題点と対策の項目をさらに要約してこ
紹介することとする。

問題点

- 東栄町の農業の実態を分析し
て構造改善への支障となってい
る条件をあげれば次のようであ
る。(自然的条件)
- (1) 耕地が傾斜地であつて、し
かも谷間に小団地で分散してい
るという地形的条件は、生産を
高めるための基盤整備を大きく
制約している。
 - (2) 高冷地農業を行なうには標
高が低すぎ、平地農業をすすめ
るには霜害などの障害があるとい
う中途半端な気象条件である
。このことは高冷地野菜などの
商業的農業をすすめる上の制
約となつてゐる。
 - (3) 市場に対して遠隔であるば
かりでなく、町内では主要道路
から農家が離れて分散している
ため、肥料など生産資材や生
産物の運搬に不便であり、商品
生産の大型化を制約している。
 - (4) 輸送費がかさみ、市場価格の変
動に対応することが困難であ
る。

振興策への 考え方

以上の問題点と農家の施策上
の希望に対し、その農業振興の
施策としての方をあげれば
次のとおり要約される。

- (1) 土地の性質に適応した農業
第一点は傾斜地利用である。
傾斜地は機械化に制約がある。
そこで耕さない農業で傾斜地を
好む園地農業が考えられる。
近年普及している小楕の栽培や
「こんやくいも」は地形に合
つた作物の代表的ものである。
- 第二点は林野の活用である。
傾斜地などの草地を利用して畜
産地帯とすることである。また
しいたげ栽培も林野活用の山間
農業の一つである。
- 第三点は契約栽培などの安定
農業の拡充である。タバコ、し
よが、山ごぼりなどの拡充を
はかるほか、新しい種目を選ん
で、価格変動に対応できる安定
した農業生産を行なうことは確
実な方法である。
- 第四点は種苗の生産である。
これは自然条件も適している
ので、芽しよがが種生産、蚕種

生産のほか、花の種子生産の研
究も考えられる。また、山林苗
木生産も少なくとも自給の域ま
では拡販し、契約栽培の線にの
せたい。

(2) 現金収入をもつ農業への
設計
少なくとも一部門で年間二十
万円以上の収入をもつ基幹作物と、
他の部門の組み合わせ方式をたて
るべきで、これならば、婦女子
生産においても可能である。う
生産を不安定にしている家計補
充型の農業でなく、一部門依存
の農業を設計することが、より
生産性を高めることになる。

(3) 営農意欲の啓蒙と農協の組
織的活動
従来の自給的専制農業から脱
するために、特に婦女子の営
農意識の啓蒙が必要である。町
および農協は技術指導に加えて
営農設計をたてて組織的な活動
が望まれる。農協としては、他
の指導機関と連携を促しつつ、
各種指導および流通機構の整備
を積極的に進めるとともに、よ
り近代化する必要がある。

(4) 生活環境、生産環境の整備
町人口の減少理由の一つには
農業の生産環境の不利益があり
でなく、農家のおかれている生活
環境の不便さもある。少なく
も農家と主要道路との連絡道が
整備され、車時代に適した環境
に改善されなければならない。
農業生産意欲の高い農家を中心
として経営拡張をはかるなど、
町全体の開発、振興計画を立て
る必要がある。



林野、草地の活用を...

おめでとう “輝く全国表彰”

へき地教育の灯台となつた

東蘭目小の複式研究

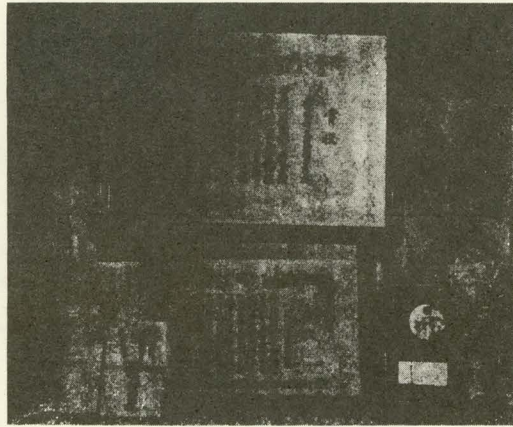
教育の機会均等の趣旨にもとづき、文部省では、へき地における教育の特殊事情にかんがみへき地教育の振興法を制定して、交通、自然、経済、文化などの条件に恵まれないこれらの地域の教育水準の向上を図ることは、なかなか容易でないと思われ、へき地では、さらに複式学校や単級学校が増加していく傾向にあります。

こうしたとき、町立東蘭目小学校が愛知県教育委員会からへき地教育の研究指定を受けて、過去二年間研究を続けて素晴らしい成果をおさめ、さきに当広報でもご紹介した研究発表大会において、関係各方面から称賛されました。

この研究協議は、学校ぐるみ、家庭や部落ぐるみで行なわれ、校長を中心に、全職員が同一目的に同一研究の方法でこの問題に取り組んだ熱意が各校の

模範であるとして、県教育委員会の推せんで、去る十一月十九日、文部省と学習研究社から全国

表彰の榮譽を受けられました。県が推せんした小学校十校、中学校四校のなかに東蘭目小学校が含まれたのをみても、この研究成果が立派であったことを如実に物語っています。



東蘭目小が全国表彰に輝いた賞品のかずかず

永久選挙人名簿の追加登録者数が確定

町選挙管理委員会は十二月十日、永久選挙人名簿の追加登録者数をまとめました。今回登録されたのは、昨年九月三十日現在後十月十日現在で新しく資格を有するに至った者、男二十一、女二十四人、計四十五人です。この名簿は次の登録される三月三十日までの間の各種の選挙に使用されます。なお新しく選挙権を有するに

選挙人名簿登録者数 (昭和41年12月10日現在)

投票所名	男	女	計
柿野	87	97	184
設楽	177	209	386
布川	52	64	116
月郷	154	164	318
本郷	557	654	1,211
三ツ瀬	66	77	143
市川	163	198	361
下田	163	184	347
川角	46	57	103
足込	127	136	263
御東	115	132	247
西園	66	73	139
渡目	69	77	146
茂瀬	37	46	83
畑	144	168	312
深根	65	78	143
代林	144	155	299
戸林	81	92	173
小戸	183	214	397
計	2,685	3,092	5,777

至つた者は三月一日までに申し出て下さい。三月一日現在で満二十歳に達し引きつづき三ヶ月以上東栄町に住んでいるもの、または他町村より転入して同日で三ヶ月以上になるものが該当

します。他町村よりの転入者は前登録地より「選挙人名簿登録済証明書」を添付して下さい。投票区別登録者数は別表のとおりです。

異常のある子どもさんは、入学前に病気を治療し、知能を知つていただき、入学した子どもさんが健康で元気よく入学することができるよう事前措置をとつてくださるようお願いいたします。(教育委員会)

2月4日に 知事選挙が行なわれます

二月十四日任期満了となる愛知県知事選挙が、一月十日告示され、二月四日(土曜日)に投票が行なわれます。告示と同時に不在者投票ができませんから乗権のないよう、みんな投票してください。

お知らせ 新人生を持つ 保護者へ

東栄町教育委員会は十二月一日に、新年度の入学する就学児童の学齢簿をつくり、一月中に就学前の健康診断と、知能テストを行うことになっておりますので、学校から通知が届きましたら、もれなく愛児を伴つてこれを受けてください。

スリップ事故防止

厳寒期にはいり、道路の凍結で、スリップ事故が増えています。道路には絶対に水を撒かないようご協力ください。

季節のことば 1月

「中部は一つ」このことばのもつ意義は大きい。昨年七月一日、中部圏開発整備法が施行され、愛知、岐阜、三重、静岡、長野、滋賀、富山、石川、福井の中部九県は、こんご一段と産業、経済、文化の交流を深めることになった。広域行政……一國一城主義の時代は過ぎ去つた。道路、交通網の整備、利水事業、工業地帯の造成など、あらゆる事業が高い視野に立つて進め

いよいよ新学期！ 九日から各学校は三学期にはいります。お正月に始まるこの

寄稿 視察研修旅行記 伊藤安太郎

東栄町PTA連絡協議会において、昭和四十一年十二月十一日の一泊二日の日程で、浜松市日本楽器株式会社、同市立城北小学校を視察の計画が実施され、会長伊藤保市氏に引率されて研修の途についた。

十日の朝、会員四十九名は、星がまた姿をけさない霜道を踏んで本郷に集合、豊橋観光バスに乗りして紅葉あやなす山間の寒風をつき一路浜松に向つた。数時にして、日本楽器会社の正面にエンジンを止めた。そして会社の係員の出迎えを受けて場内にはいった。

高層ビルがいくつも重なる工場で、案内されるままに作業中の場内をまわつた。さすがに世界一級楽器として誇るヤマハだけの秩序には全く声も出なかつた。次から次へといくつかの部門に分かれて、工場を隅から隅まで連れまわされて、目のまわるようなことばかりであつた。

この世界一の楽器メーカーで、ある会社も、その昔明治二十年頃、医学機械技師である山葉寅楠という人が、オルガンの修理をしたのが始めて、三日間かけてはじめて手にしたオルガンの製作に成功したという。以来発展をつづけて、その名もヤマハ楽器としてその生産高は世界一位で、年産九万三千台といわれて、先進国アメリカの四万四千台をはるかに上まわる楽器の大メーカーとなつたのである。このほかに支店は国内二十三か所、特約店は千四百をこそえ、なお遠く海外にも進出しているそうである。

ここにおいて、我々は世界にすぐれた楽器の生産国であることと確認し、楽器教育が情操教育を目的としているだけに、この優良な楽器による、学校教育および社会教育を施して、情操をいよいよ高めていくべきだといふ今後の責とすることがで

き、この視察が、東栄町の教育界として得ることの大なるものがあつたと思う。

この意義あつた日本楽器に別れをつけ、完全舗装の国道一号线を愛車はすべる如くに、富士の高嶺を窓に透して箱根連山に向つた。ホテル小涌園に車を止め一夜の夢をむんだのである。

明けて十一日、一天雲なく澄みわたつた箱根山頂の彼方から湧きあがるようにだいたいに陽光があたりはじめた。待つてゐる愛車によつて、十国峠から熱海峠を、伊豆スカイライン、大仁沼津と名所を観賞しつつ、灯のついた豊橋へと到着した。

そしてまた車窓に星のきらめく道を東京に帰るたのである。ここに、二日間わたつた研修旅行の日程を無事修了したのである。

末筆ながら、本計画と実施にあつた諸先生の並々ならぬ労苦に深謝して、この稿のペンを置くことにする。

